北陸の建設技術

CONTENTS

2014 **(10)** VOL. 28



■梯川小松天満宮地区改修

小松市内を貫流する梯川のほとりには、加賀藩3代当主前田利常が1657年に創建した「小松天満宮」が存在します。これは京都の北野天満宮を1/4の大きさで模したとされ、国の重要文化財に指定されています。

このため、小松天満宮を現位置に配したまま必要な治水安全度を確保する、分水路方式による河川整備を進めています。(写真中央が小松天満宮。分水路は小松天満宮を右岸側に迂回して洪水の一部を処理します。)

本年5月に梯川本川の堤防が完了し、現在は分水路の掘削や小松天満宮を囲む 輪中堤の築場等を鋭音施工中です。

(写真提供:北陸地方整備局金沢河川国道事務所H26.8撮影)

視点

1 ふたつの国の物語 一土木のおはなしー ■朝日建設㈱ 取締役社長 林 和夫

トピックス

建設分野の新技術・新工法

- 3 | 平成26年度「建設技術報告会」を開催
 - ■平成26年度「建設技術報告会」実行委員会

地域の動き

インフラツーリズムの創出を目指して **7** 「とやまの土木」見学会を開催しました!

■富山県 土木部 建設技術企画課

技術レポート

第宮高架橋(上り・下り) 耐震補強工事 **9** 橋梁の耐震補強の施工について

■㈱明翫組 現場代理人 内村 亮

放射能汚染対応技術

- || ベントナイト砕石工法による放射性物質汚染廃棄物の隔離 技術と施工事例
 - 西武建設㈱

シリーズ 現場技術者の「知得

「北陸地方建設副産物対策連絡協議会」の取り組み 及び「建設リサイクル推進計画2014」について ■北陸地方整備局 企画部 技術管理課



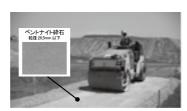
基調講演の聴講状況 (第1会場) ▶ P. 3



見学の様子(東山円筒分水槽) ▶ P. 7



透明型枠▶ P. 9



NB 工法の施工状況▶ P.11



見学会(明星セメント) ▶ P.15

職場紹介

工事の見える化と工事の情報発信 17 地域から愛される現場を目指して ■(株大島組





作成した大島組かわらばん▶ P.17

先輩なう!

19 地域のための仕事が出来る誇り

■新潟国道事務所 管理第二課 島津 美砂子 さん

新技術情報

NETIS 登録技術

■平成26年度 登録技術

・目地バリシート(L型)

【登録番号:HR-140006】 (株)白崎コーポレーション

・高反発スプリング内蔵高打撃ランマ 【登録番号:HR-140007】 (株明和製作所



職場内での様子▶ P.19



目地バリシート施工後▶ P.21



高打撃ランマ締固め風景▶ P.21

「北陸の建設技術」への意見、ご感想が ありましたらお聞かせください。 E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp